

■鑑真 帰化僧。日本の律宗の開祖。日本からの招きに渡日を決意、苦難の後、来日し登壇授戒、唐招提寺を創建。

がんじん

・・・・・・・・ 688= 唐の揚州江陽県の生まれ。

持統天皇即位 690= 2歳：この年、唐では、則天武后が皇帝になる。

\_\_帝位篡奪した則天武后は、自らの正統性を仏教に求め、道岸から菩薩戒を受ける。

薬師寺三尊像 697= 9歳：

持統天皇没・ 702=14歳：智満について得度し、大雲寺に住む。

・・・・・・・・ 706=18歳：\_\_道岸から菩薩戒を受け、

和同開珎・・ 708=20歳：長安に入り、

・・・・・・・・ 709=21歳：弘景について登壇受具し、律宗・天台宗を学ぶ。

元正天皇即位 715=27歳：

律宗とは、仏教徒、とりわけ僧尼が遵守すべき戒律を伝え研究する宗派であるが、鑑真は四分律に基づく南山律宗の継承者であり、4万人以上の人々に授戒を行ったとされている。

聖武天皇即位 724=36歳：この年、聖武天皇が即位、

日本では、私度僧(自分で出家を宣言した僧侶)が多かったため、伝戒師(僧侶に位を与える人)が必要であったこと以上に、自らが、初めて民間人を母とする天皇であったことから、\_\_その正統性を、則天武后に倣い、菩薩戒を受戒することによって得ることを求めた聖武天皇の意図を反映してか、左大臣長屋王から、文字の書き込まれた袈裟を贈られ、その言葉に感銘している。

長屋王の変・ 729=41歳：

風土記完了・ 733=45歳：31年ぶりに遣唐使船を出した聖武天皇により、\_\_僧栄叡、普照が唐に派遣され、

藤原四卿没・ 737=49歳：

彼らは、洛陽大福先寺で具足戒を授けられ、道？(王偏に睿)に来日を促した後も、鑑真その人を探し求めていたが、

壘田永世法・ 742=54歳：\*揚州の大明寺の住職であった時、ついに、彼らに発見されて、律を日本へ伝えるよう懇請され、渡日したい者はいないかと弟子に問いかけたが、危険を冒してまで渡日を希望する者はいなかったため、自ら渡日することを決意、それを聞いた弟子21人も随行することにするが、

大仏造立の詔 743=55歳：\_\_渡日を嫌った弟子の密告で、日本僧は追放され、鑑真は留め置かれてしまう。

・・・・・・・・ 744=56歳：周到な準備の上で出航したが激しい暴風に遭い、一旦、明州の余姚へ戻らざるを得なくなってしまう。

その後、栄叡は病死を装って出獄に成功し、江蘇・浙江からの出航は困難だとし、鑑真一行は福州から出発する計画を立て、福州へ向かった。しかし、この時も鑑真弟子の壘佑が鑑真の安否を気遣って渡航阻止を役人へ訴えた。そのため、官吏に出航を差し止められ、\_\_4回目も失敗。

・・・・・・・・ 748=60歳：栄叡が再び大明寺の鑑真を訪れて懇願され、またも渡海を企図。舟山諸島で数ヶ月風待ちした後、日本へ向かい出航したが、激しい暴風に遭い、漂流の末、遙か南方の海南島へ漂着し、\_\_5回目も失敗。

懐風藻・・ 751=63歳：揚州に戻るため海南島を離れる途上、端州の地で栄叡が死去。動揺して広州から天竺へ向かおうとしたが、周囲に慰留されるが、揚州までの帰上の間、鑑真は南方の気候や激しい疲労などにより、両眼を失明してしまう(渡日後も完全には失明はしていなかったとする説もある)。

大仏開眼・・ 752=64歳：\_\_なお必ず渡日を果たす決意し、渡来した遣唐使藤原清河らに渡日を約束したが、当時の玄宗皇帝が鑑真の才能を惜しんで渡日を許さなかったため、

・・・・・・・・ 753=65歳：\*遣唐使が帰日する際、遣唐大使の藤原清河は鑑真の同乗を拒否するが、副使の大伴古麻呂は密かに鑑真を乗船させて出航、ほどなくして暴風が襲い、清河の大使船は南方まで漂流したが、古麻呂の副使船は持ちこたえ、薩摩坊津に無事到着。実に10年の歳月を経て仏舎利を携えた鑑真は宿願の渡日を果たすことができた。大宰府観世音寺に隣接する戒壇院で初の授戒を行い、

鑑真来日・・ 754=66歳：平城京に到着し聖武上皇以下の歓待を受け、孝謙天皇の勅により戒壇の設立と授戒について全面的に一任され、東大寺に住することになる。東大寺大仏殿に戒壇を築き、聖武上皇、光明皇后、孝謙天皇の3名にのみ、菩薩戒を授け、他の、僧、僧尼400名余にも授戒、これが日本の登壇授戒の嚆矢である。併せて、常設の東大寺戒壇院が建立され、

孝謙天皇譲位 758=72歳：淳仁天皇の勅により大和上に任じられ、僧綱の任が免除されて、自由に戒律を伝えられるようになる。

万葉集最終歌 759=73歳：与えられた新田部親王の旧邸宅跡に、\*唐招提寺を創建し、戒壇を設置。

戒律の他、彫刻や薬草の知識も伝え、悲田院を作り貧民救済にも積極的に取り組んだ。

・・・・・・・・ 761=75歳：この年には、日本の東西で登壇授戒が可能となるよう、大宰府観世音寺および下野国薬師寺に戒壇が設置され、\_\_戒律制度が急速に整備されて行くなか、

押勝暗殺計画 763=77歳：\*唐招提寺で没した。

死去を惜しんだ弟子の忍基は鑑真の彫像を造り、日本最古の肖像彫刻として現代に伝わる。779年には、淡海三船により鑑真の伝記「唐大和上東征伝」が記され、鑑真の事績を知る貴重な史料となっている。

インターネットWikipedia。NHK「英雄の選択」・池谷知子「奈良の残照―額田王と淡海三船」により追補、